

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」(事務事業点検シート)

課等名: 農業政策課

シート No.: 105 作成日: 2025.5/15

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	VI産業振興	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	2 環境と共生し、付加価値を生み出す農業を育てる	「みどりの食料システム戦略」(令和3年策定)に基づき、農業分野においても環境保全をより重視したものに転換していく必要があります。 市では、環境負荷軽減に取り組む農業者を支援するとともに、耕畜連携による飼料の国産化などを進めていますが、取組面積は未だ限定的です。	農業者に対して環境負荷の取組みを周知し理解を促すとともに、農作業の見直しを求めています。 特に、稲刈終了後の秋耕の時期や回数などについて、作業の均一化を図るよう推進するとともに、環境負荷低減に向けた優良事例などについても情報提供を行っていきます。
	施策	1 農業		
	施策内容	環境と共生した農業の推進		
その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市農業基本計画、経営所得安定対策実施要領、環境保全型農業直接支払交付金実施要領			
事務事業名	農業分野におけるカーボンニュートラル			

② アクティビティ(活動・事業)とアウトプット(結果)

③ インプット(投入)

アクティビティ(活動・事業)		アウトプット(結果)			R6予算額	R6決算額
活動名・事業名(対象年)	R6活動・事業内容	指標(単位)	R6目標値	R7目標値		
環境保全型農業直接支払交付金事業(R6・7・8)	環境負荷軽減の取組みを実施した生産者(組合)に対し、取組面積に応じた補助金を交付する。	環境負荷軽減取組面積(ha)	R6目標値	R7目標値	560千円	693千円
			R6実績値	R8目標値		
耕畜連携による飼料の国産化(R6・7・8)	耕畜連携を実施する生産者を支援する。	取組経営体数(件)	14	13	0千円	0千円
			13	13		
高温耐性や病害虫耐性品種への転換(R6・7・8)	転換に向けたPR活動を行う。	PR回数(回)	2	2	0千円	0千円
			2	2		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム(成果)

指標名	目標値	R6実績値
メタン排出削減量(t)	329.23 t-CO2ha/年	329.23 t-CO2ha/年
耕畜連携による飼料の作付面積(ha)	99.1	75.3
高温耐性品種等の作付面積(ha)	22.1	182.6

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
環境保全型農業における事業メニューの「有機農業」「秋耕」「長期中干し」については、取組開始2年目ということもあり、各生産者ともに滞りなく実施できています。 高温耐性品種等への転換については、JAが行う実地検討会などを通じ、周知徹底を図り、生産者の意識も徐々に変化が表れていると感じています。	<input type="checkbox"/> コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 成果	<input type="checkbox"/> その他
	今後の方向性			
	農業者に対し、継続的に環境負荷低減の取組を周知し理解を促します。 また、環境負荷低減で生産された農産物を積極的にPRし、価値向上を図る必要があります。 高温耐性品種等への転換については、生産者に随時情報を共有し、所得安定に向けた支援を行っていきます。			